

職員等の表彰について

1 平成29年度 文部科学大臣優秀教職員表彰

氏名	所属及び職名	推薦理由
小野 祥子	東広島市立志和中学校教諭	国語科教育の研究を熱心に行い、生徒の実態に応じた教材づくりや授業展開を行うことにより学力の定着を図り成果を上げている。 平成28年度は、文部科学省委託「道徳教育改善・充実」総合対策事業の指定を受け、当該教諭は研究主任としてリーダーシップを発揮し、研究会では「道徳科」全面实施に向け、提案性のある授業及び研究発表を行った。 国語科教育等、専門性を発揮し、他の教員の指導力向上に寄与している。

2 平成29年度 広島県教育賞

(1) 個人

区分	氏名	所属及び職名	功績等
地域文化	今田 幸博	東広島市文化財保護審議会副会長	東広島市文化財保護審議会委員、同副会長として多数の文化財の掘り起しや、県内の山城の分布調査及び研究を行い文化財保護に尽力した。 市民向け講座での講師や、東広島郷土史研究会の会員として「ひがしひろしま郷土史研究会ニュース」を執筆するなど、文化財保護意識の高揚に寄与した。

3 平成29年度 広島県教育奨励賞

(1) 個人

区分	氏名	所属及び職名	功績等
学校教育	菅 ちあき	東広島市立西条小学校教諭	「学びの変革」パイロット校事業のパイロット教員として、「課題発見・解決学習」の授業づくりに向けて算数と総合的な学習の時間の単元開発等に意欲的に取り組んだ。また、公開研究会や様々な研修会等で実践を発表し、県全体への普及に貢献した。

(2) 団体

区分	団体名	功績等
学校教育	外国語教育強化地域拠点事業研究校 東広島市立東西条小学校 東広島市立御菌宇小学校 東広島市立松賀中学校 広島県立賀茂高等学校	本事業の指定を受け、小学校ではコミュニケーションを行う目的、場面、状況を設定した授業を展開するとともに、映像を使った評価研究を行った。中学校では、「即興的なやり取り」ができる力の育成を図るため、指導内容系統表を作成した。高等学校では、「言語活動の高度化」に資する指導方法、評価方法の取組の充実を図るため、単元末にパフォーマンス課題を設定した単元指導計画、ルーブリックの作成、及び英語による表現活動につなげられるような教材開発を行った。これらの研究を基に、小中高が連携し、他校のモデルとなる小中高を通じた系統性のある「CAN-DOリスト」の作成を行い普及させた。